

御嵩町リニア発生土置き場に関するフォーラム

(第5回 令和5年1月21日)

「ハナノキ群生地等重要湿地の保全」
について説明します



重要種及び湿地群の把握

当社は、H26年から環境調査を実施しています。

調査結果から、ハナノキやシデコブシといった湿地に植生する重要種の位置を把握しています。



候補地Aと候補地Bの間の流域内([])で、ハナノキとシデコブシが多く群生(●)。

発生土置き場候補地計画時、改変を回避。

改変範囲内で確認されたハナノキ、シデコブシを含む重要種は、保全措置を実施。

アクセス道路の計画は、ハナノキ等の生育箇所を確認し、支障がない位置にできる限り最短距離で栈橋構造にて渡る。

ハナノキ群生地等重要湿地の保全

- ・これまでも当社は環境の保全を重視して、中央新幹線の建設計画を策定してきました。
- ・ハナノキやシデコブシ等の重要種が存在する美佐野ハナノキ湿地群の一部が発生土置き場の改変範囲にも存在することを確認しました。
- ・これまでご説明してきたように、改変範囲内に植生している重要種は、移植先を選定し、幼木・稚樹の移植等を行うことで、種の保全を行います。
- ・改変範囲内に存在する湿地を残すことができませんが、当社としては、これまでの調査で確認しているハナノキ群生地等の湿地群の保全に力を入れてまいります。

ハナノキ群生地等重要湿地の保全

- ・第2回フォーラムにおいて、美佐野地区では植生遷移が進行※しているため、世代更新が必要であるとの有識者意見がありました。（玉木先生資料より）

※高木が多く、稚樹の生育しにくい環境であり、更新が進んでいないため、里山の生物が好む明るい環境が減少している

- ・ハナノキ群生地については、世代更新のほか、生物多様性の確保、希少種、重要種の保全に、当社としても協力していきます。
- ・具体的には、発生土置き場を整備する際の工事用道路を保全のための作業道として残す等、今後御嵩町と協議や有識者の意見を踏まえながら、よりよい環境づくりに協力してまいります。